取扱説明書

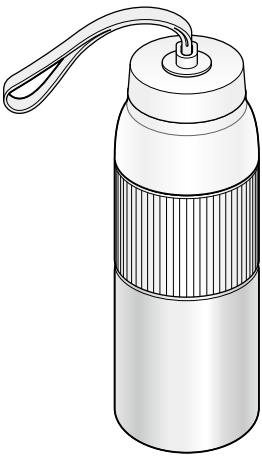
T-fal

ティファール ステンレスマグボトル

beYou Twist Bottle

beYou ツイストボトル

家庭用



- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
- ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

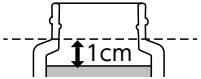
安全上の注意 ご使用の際は、以下のことを必ずお守りください。

本製品は、乳幼児の手の届かないところに置き、使用させないでください

やけどやけがの原因になります。

飲み物は入れ過ぎないように注意してください

図の位置以上は入れないでください。
ふたユニットを取り付けたときや持ち運んでいるときに飲み物があふれ、やけどや他の物を汚す原因になります。



口金から約 1cm
下の位置まで

使用時・使用後は以下の点に注意してください

- せんユニットは確実に取り付けて使用してください。
- パッキンは必ず装着して使用してください。
- 使用後はふたを確実に閉めてください。

飲み物がもれたり、こぼれたりしてやけどしたり、他の物を汚す原因になります。

飲み物を長期間入れたままにしないでください

腐敗の原因になります。
また、腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飛び出したり、飲み物が吹き出したりして、けがや他の物を汚す原因となります。

傾けた状態や顔に近づけた状態でふたを開けないでください

飲み物が飛び出たり、飛散してやけどや他の物を汚す原因になります。

改造したり、説明書に記載のない分解修理をしないでください

故障や事故の原因になります。

安全上の注意（続き）

飲み物を入れるときは、必ずせんユニットを外してください

ふたユニットとせんユニットをつけたまま飲み物を入れようとすると、飲み物がこぼれる恐れがあります。

ふたユニットとせんユニットを取り付けるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。また、転倒に注意してください

熱い飲み物を入れた場合は、本体を急に傾けて飲まないでください

急に飲み物が出てやけどの原因になります。

以下のものは絶対に入れないでください

- ドライアイス
  内圧が上がり、飲み物が吹き出たり、ふたユニットが開かなくなったりしてやけどや破損の原因になります。
- みそ汁・スープなど塩分を多く含むもの
  さびの原因になります。
- 牛乳・乳飲料
  腐敗の原因になります。
- 果汁・お茶の葉
  飲み口に詰まったり、もれたりする原因になります。

ストーブやガスコンロなど火気に近づけないでください

変形・変色したり、やけどの原因になります。

電子レンジで加熱しないでください

火花が飛び、電子レンジの故障や本体の変形・変色の原因になります。

使用後はすぐに本体内を洗ってください

腐敗や本体内のさびの原因になります。

スポーツ飲料を入れた場合は、使用後すぐにお手入れをしてください

外出時にお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水洗いしてください。
さびや穴があく原因になります。

炭酸飲料を入れるときは、以下の点に注意してください

- 飲み物は本体にゆっくりと注いでください。
- 横置きにしないでください。飲み物がもれたり、濡れて他の物を汚す原因になります。
- 車内や直射日光が当たる場所など、高温になる環境で長時間放置しないでください。温度上昇により内圧が上がり、飲みものがふき出して周囲を汚す恐れがあります。
- 本体を振る・衝撃を受けた直後にふたを開けないでください。飲みものがふき出してものを汚す原因になります。少し時間をおいてからふたをゆっくりと開けてください。

口金部分に熱いやかんなどを触れさせないでください

やけどの原因になります。

飲み物を入れる以外の目的には使用しないでください

けがや事故の原因になります。

本体の真空二重構造の中から水の音がする場合は、使用しないでください

本体内側に飲み物がしみ出して体調不良の原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しないでください

熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどの原因になります。

缶ホルダーを使用する際は、強度を確認してから使用してください

ホルダーが破損するなどして、やけどや飲み物がこぼれる原因になります。

自動車走行中は飲まないでください

飲み物がこぼれてやけどをしたり、車内を汚す原因になります。

安全上の注意（続き）

冷凍庫に入れないでください
飲み物がもれたり、破損の原因になります。

飲み口に残った飲み物は拭き取ってください
ふたを閉めたときにこぼれる恐れがあります。

専用パーツ以外は使用しないでください
もれや故障の原因になります。

バッグなどに入れる際は、万一のもれを防ぐため、製品を縦置きにしてください。
また、ストラップがひっかかってもふたユニットが緩まないことを確認してください

お出かけ前に、製品を逆さにしてもれがないことを確認してください

本体底面に貼ってある底シールは絶対にはがさないでください
保温・保冷不良の原因になります。

底シール

ストラップを持つ際には、ストラップが摩擦などにより破損していないかご確認の上ご使用ください

チャームコネクターは小さな付属品です。乳幼児が誤って口に入れないよう、保管場所にご注意ください

お手入れ上の注意

さびや製品の破損、ステッカーがはがれるなどの原因になるため、下記をお守りください。

ご使用後はすぐにきれいに洗い、十分に乾燥させてください

お手入れの際は、シンナーやベンジン、金属たわし、研磨材入りたわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください

お手入れ上の注意（続き）

塩素系漂白剤は使用しないでください

本体外側は、漂白剤を使用しないでください

本体は水中に放置しないでください

煮沸はしないでください

使用上の注意

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください

変形したり、飲み物がこぼれる原因になります。

ふた部分のみを持って本体を運んだり、ふたを開閉しないでください

破損・落下の原因になります。

大きな氷は砕いて小さくしてから入れてください

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形や故障の原因になります。

氷を入れた場合などは本体内の圧力が下がり、パッキンが外れる場合があります

その場合はパッキンを取り付けてください。

本体に貼ってあるステッカーははがさないでください

使用後は必ずふたユニット、せんユニット、パッキン類をきれいに洗ってください

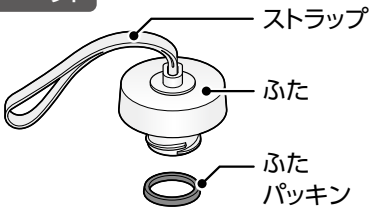
腐敗、カビ、におい移り、変色等の原因になります。

ご使用の前に

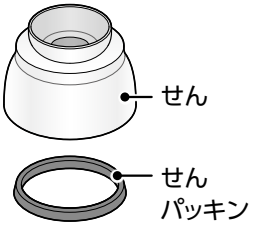
ふたの締め付け具合により、ふたパッキンがよれている場合がありますが、一時的なもので、洗っていただくと元に戻りますので、問題なくお使いいただけます。

各部の名称

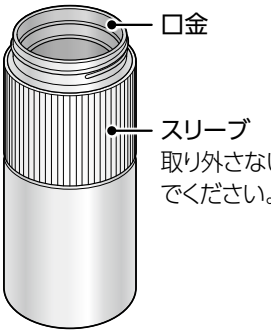
ふたユニット



せんユニット



本体



付属品

チャームコネクター× 1

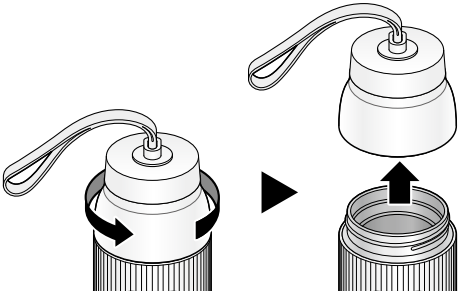
ストラップの代わりにふた上部に取り付けることができます。
取り付け・取り外し方法はストラップと同様です。

使い方

初めてご使用になるときは、
よく洗ってください。

飲み物を入れる

1 本体からせんユニットを反時計回りに回して外します。

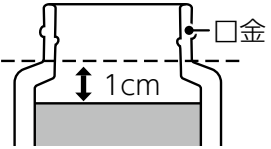


2 飲み物を本体に注ぎます。

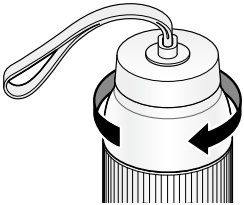
飲み物は図の位置以上入れないでください。
入れすぎるとあふれる恐れがあります。

- あらかじめ本体に熱湯（冷水）を入れ、1 分程度予熱（予冷）をすると、保温（保冷）に効果的です。

口金から約 1cm
下の位置まで



3 せんユニットを時計回りに回して、確実に取り付けます。



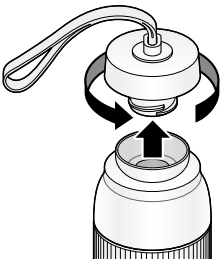
注意

- 使用するときは必ずふたパッキンとせんパッキンが正しく装着されていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、飲み物がもれる原因になります。(→「パッキンの取り付け方法」15 ページ)
- ふたユニットとせんユニットを取り付けるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。また、転倒に注意してください。

飲むとき

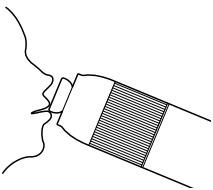
1 本体を立てた状態で、ふたユニットを反時計回りに回して外します。

傾けた状態でふたユニットを開けないでください。
飲み物がこぼれたり、やけどの原因になります。



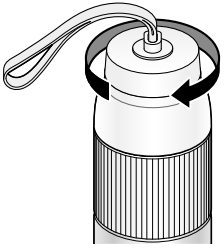
2 飲み口に口をつけ、ゆっくりと本体を傾けて飲みます。

本体を急に傾けると、飲み物がこぼれたりやけどの原因になりますので、ご注意ください。

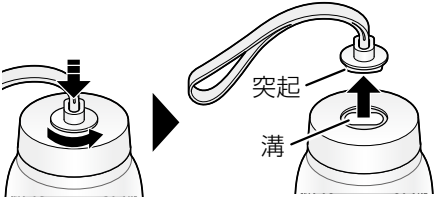


3 飲み終わったら、本体を立てた状態で、ふたが回らなくなるまで時計回りに回し、確実に閉めます。

ふたがきちんと閉まっていないと飲み物がこぼれる原因になりますので、ご注意ください。



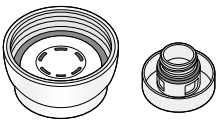
<ストラップの取り付け／取り外し方法>
ストラップは押し込みながら反時計回りに回すと取り外せます。
取り付けるときはストラップの突起をふたの溝に押し込みながら、時計回りに回して取り付けます。カチッと音がするまで回し、ロックしてください。



お手入れ

ご使用後は、すぐにお手入れをしてください。
洗浄には柔らかいスポンジと中性洗剤、または食器洗い機をお使いください。
長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って、十分に乾燥させてから、高温多湿の場所を避けて保管してください。

ふたユニット・せんユニット



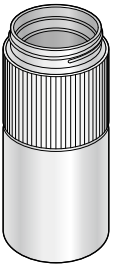
本体から取り外し、パッキン類を外してから、よく洗います。
洗った後は、十分に乾燥させてください。
※食器洗い機を使用する場合、ストラップ・チャームコネクターは取り外してください。

ふたパッキン・せんパッキン

ふたユニットとせんユニットから外した後、よく洗い、十分に乾かします。

お手入れ（続き）

本体



<内側>
柄のついたスポンジなどでよく洗った後、十分に乾かします。

<外側>
洗った後、水を切り、十分に乾かします。

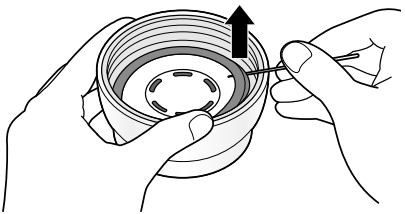
注意

- お手入れの際は、シンナーやベンジン、金属たわし、研磨材入りたわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 本体は水中に放置しないでください。
- 煮沸はしないでください。

パッキンの取り外し方法

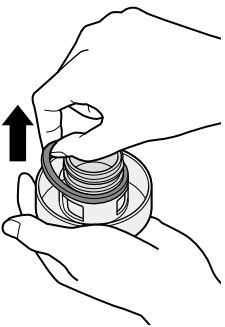
せんパッキン

つまようじなどを使って外します。
パッキンを傷つけないようご注意ください。



ふたパッキン

引っぱって取り外します。



パッキンの取り付け方法

せんパッキン

パッキンの向きに気をつけて取り付けます。

先が細くなっている方を下にして取り付けます。

パッキンはせんの溝の奥まで確実に押し込んでください。

パッキン

ふたパッキン

パッキンの向きに気をつけて取り付けます。

先が細くなっている方を下にして取り付けます。

パッキンの溝をふたの突起に合わせて取り付けます。

パッキン

こんなときは

■ふたユニットから飲み物がもれる

考えられる原因	対処方法
ふたがきちんと閉まっていない	ふたが回らなくなるまで確実にふたを閉めてください。
せんが確実に閉まっていない	せんは確実に閉めてください。
パッキンが取り付けられていない	ふたパッキン、せんパッキンを両方とも正しく取り付けてください。
飲み物を入れすぎている	飲み物は満杯まで入れるともれる恐れがあります。8 ページを参照して量を調節してください。

■パッキンや本体内部からいやなにおいがする

考えられる原因	対処方法
本体内部やパッキンが汚れている	パッキンを取り外してよく洗浄してください。

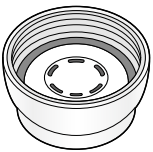
部品の交換／購入

パッキン等の消耗品をご購入されたい場合は、当社「部品注文センター」にお問い合わせください。ご購入いただける部品は以下のものです。

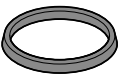
ふたユニット
（ふたパッキンを含む）

ふたパッキン

せんユニット
（せんパッキンを含む）



せんパッキン



●交換部品は必ず、純正部品をご使用ください。他社の部品では代用できません。
●ストラップ、チャームコネクターの交換／購入はできません。

仕様

容量タイプ	500ml
保温効力	63度以上（6時間）
保冷効力	10度以下（6時間）

※ 保温効力とは、室温 20 度± 2 度において製品に熱湯をふたユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が 95 度± 1 度の時から 6 時間放置した場合におけるその湯の温度。

※ 保冷効力とは、室温 20 度± 2 度において製品に冷水をふたユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水の温度が 4 度± 1 度の時から 6 時間放置した場合におけるその水の温度。

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合があります。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様相談センター　ナビダイヤル　0570-077772　受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文センター / 修理センター　ナビダイヤル　0570-086072　受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

3150054716